

ハマフエフキの中間育成

安井理奈・仲盛淳

立津政吉・仲原英盛^{*1}・小濱健徳^{*1}

1. 目的

平成20年度の養殖用ハマフエフキ大型種苗(50mm)の要望数72,000尾を生産する。

2. 方法

中間育成は、種苗生産した1、2、4及び6回次の195,900尾を用いた。飼育は、屋内50 kL及び100 kL水槽又は海上生け簀で行った。各水槽には自動給餌器を設置して、配合飼料を給餌した。生け簀では手まきで配合飼料を給餌した。

3. 結果

中間育成結果を表1に示す。

中間育成08-01回次では、イリドウイルス検査の結果が陽性だったため、承諾を得た上で養殖業者に配布した。その他の回次ではイリドウイルス陰性であった。また、08-03回次では、100t、50t水槽に収容して中間育成を開始したが1週間程で大量斃死が発生したため50t水槽は廃棄した。水産海洋研究センターへ魚病検査を依頼したが、原因は不明であった。

大型種苗中間育成の平均生残率は55.3%、取り上げ尾数の総数は108,300尾であり、要望数を満たすことができた。

表1. ハマフエフキの中間育成結果

生産回次		08-1	08-2	08-3	08-04
稚魚収容数	尾	20,000	13,600	125,300	37,000
収容時平均全長	mm	25.0	23.4	21.3	39.0
開始密度	千尾/m ³	0.4	0.3	0.8	0.7
水槽規模	m ³ , 槽	50,1	50,1	50,1 100,1	50,1
育成開始日		2008/5/1	2008/5/19	2008/6/11	2008/7/1
育成開始日令		51	54	49	55
飼育日数	日間	56	30	19	10
取揚尾数	尾	10,700	5,300	60,300	32,000
出荷数	尾	6,500	5,300	31,600	30,500
取揚時平均全長		76.77	65.2	52.4	63.4
生残率	%	53.6%	39.0%	48.1%	86.5%
取揚密度	千尾/m ³	0.2	0.3	0.6	0.6
飼育水温	°C	22.6-28.7	22.8-28.1	27.3-28.7	27.8-29.5

*1 現所属：家畜改良センター